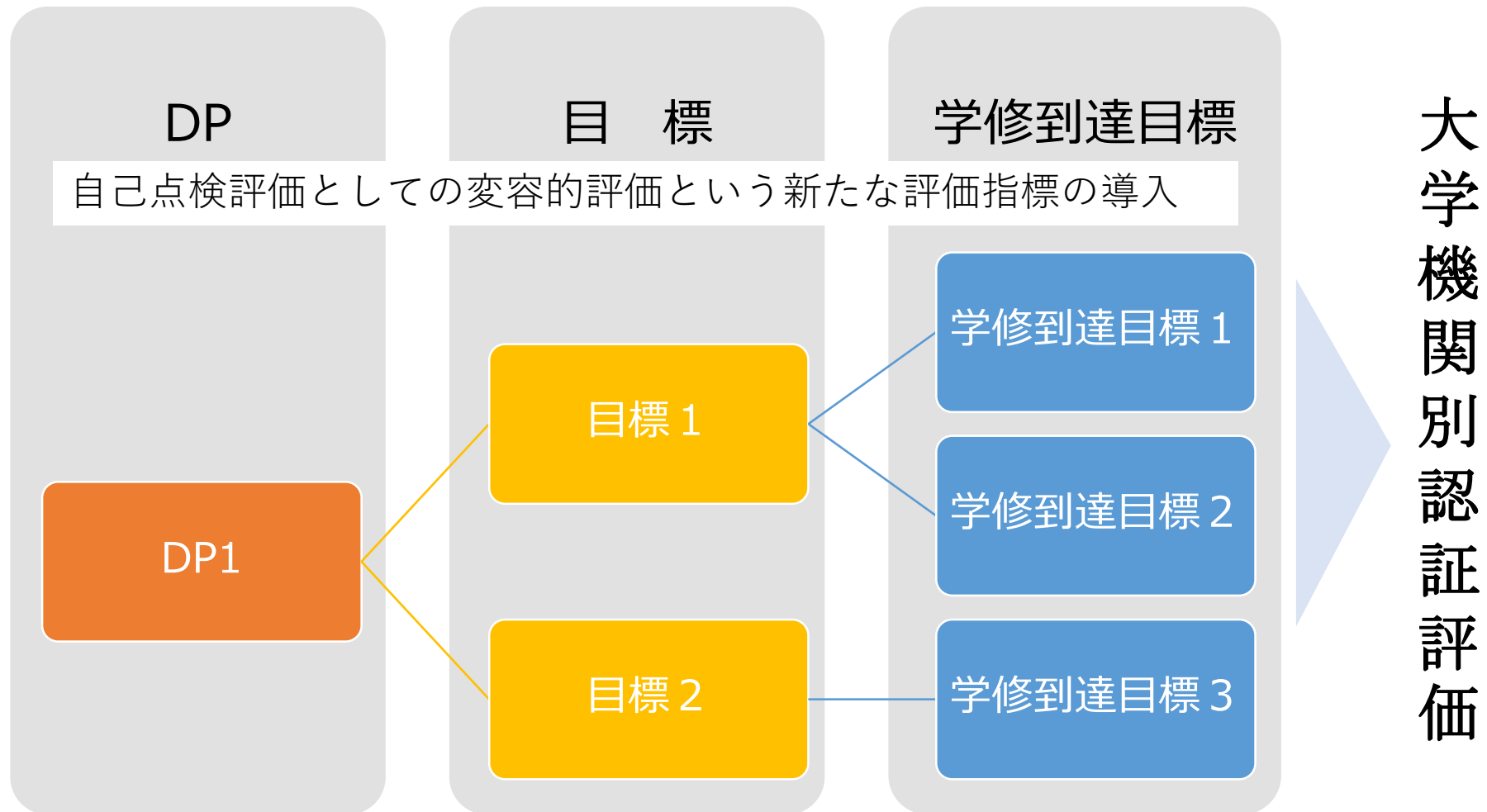


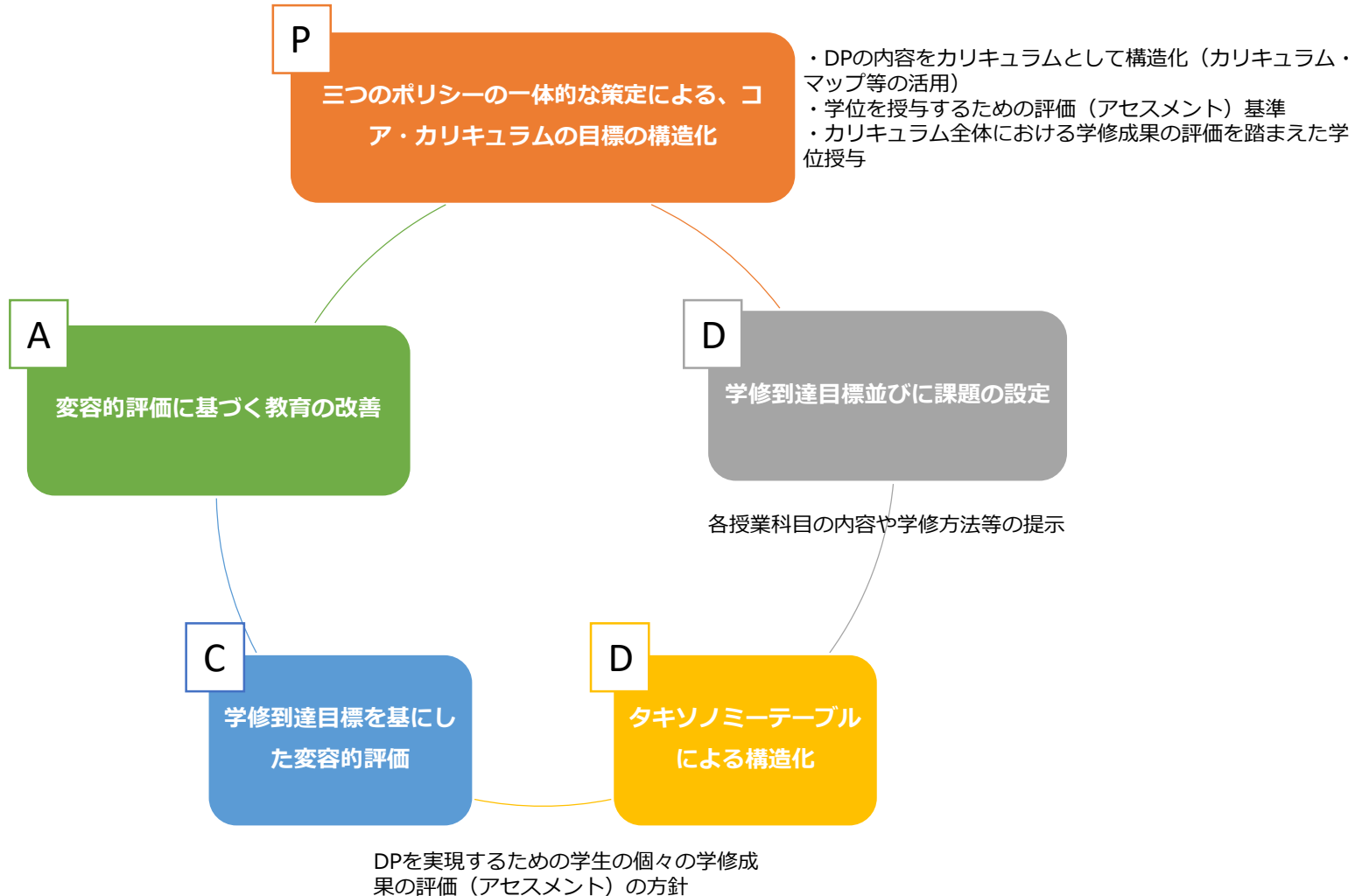
DPを実現するための学生の個々の学修成果の評価(アセスメント)の方針の策定

- ◆ 三つのポリシーの一体的な策定による、選抜、教育、卒業の各段階における目標の具体化
- ◆ 大学の理念や社会の要請等を踏まえ、学生が身に付けるべき資質・能力の明確化
- ◆ DPを踏まえた教育課程編成、教育 内容・方法の明確化と構造化



DPを実現するための学生の個々の学修成果の評価(アセスメント)の方針の策定

< 大学教育に関する内部質保証のP D C A サイクル >



DPを実現するための学生の個々の学修成果の評価(アセスメント)の方針の策定

e-Learning 科目の科目学修到達目標並びに課題

学科・専攻【

学部共通

】 科目【 文化創造基礎（英語） 】

No	テーマ	学修到達目標	内 容	課題
(例)	インストラクショナルデザイン	・ インストラクショナルデザインとは何か説明できる。 ・ ADDIE モデルについ事例をあげて説明できる。 ・ カークパトリックの4 段階評価モデルについて事例をあげて説明できる。	(1)インストラクショナルデザインとは (2)教材開発とインストラクショナルデザイン (3)授業設計のプロセス ・ ADDIE モデル (4) カークパトリックの 4 段階評価モデル	(1) カークパトリックの 4 段階評価モデルについて、各段階における評価方法には何があるかグループで 考察しなさい。 (2) 授業設計 のプロセスにおける ADDIE モデルについて、各プロセスの内容を、具体的に授業を設計する場面を当てはめなさい。
第 1 講	英語学習の目的	・ 今までの英語学習の経験を整理し、その効果について説明できる。 ・ 英語学が意義について、コミュニケーションの観点から説明できる。	(1) 英語学習のその目的 (2) 第二言語と第二外国語 (3) GDP と英語学習	(1) 今までの英語学習経験 についてとその効果についてグループで考察しなさい。 (2) 第二言語 と第二外国語の定義について調べなさい。
第 2 講	社会で求められている英語力	・ 使用する言語人口や、外国人の数をもとに言語の役割を説明できる。 ・ 国としての取り組みについて、例を挙げて説明できる。	(1) 企業が求める人材 (2) 文部科学省の取り組み (3) 大学卒業時の英語力	(1) 外国人労働者 が閉める割合について調べ交流しなさい。 (2) 「 英語が使える日本人』の育成」の内容を整理しなさい。
第 3 講	第二言語習得論	・ 対照分析仮説をもとに、日本人が外国語を学ぶ難しさについて説明できる。 ・ 第二言語習得研究における中間言語の役割を説明できる。	(1) アジアの中の日本の英語力 (2) 言語間の距離	(1) 各種英語検定について調べ、外部試験結果をもとに、日本の英語力をアジア圏の国と比較しなさい。 (2) 目的言語のアウトプットまでにどんなことが起きているか、例をもとにグループで話し合いなさい。

DPを実現するための学生の個々の学修成果の 評価(アセスメント)の方針の策定

キソノミーテーブル（教育目標の分類体系：タキソノミー）
科目名 メディア論Ⅲ （ 2024年6月25日作成）

内容 事実、概念、 手続き、メタ認知 (○○する 力がある)	想起する	理解する	応用する	分析する	評価する	創造する
	(再認、再生)	解釈、例示、分類、推論、比較、説明	実行、遂行	比較、組織 結果と原因	チェック、判断	生み出す、計画 できる、汎化
デジタルアーカイブにおける権利 処理の概要	・権利処理を意識できる。	メディアの意義や性質、 種類を学ぶ。	メディアを用いて メッセージを発信する あるいはメディアを 活用する。	倫理・著作権・肖像 権・プライバシー等への 配慮の必要性を分析 する。	配慮不足によるトラブル を理解する。	権利処理への配慮の 重要性を理解し、デ ジタルアーカイブ化 に活用する。
メディアの種類、意義、特徴	・メディアの意義、特 色はなにか	メディアは何を伝える のかを理解し、情報源 とメディアの形態を説 明できる。	メディアが自分にど のような影響があっ たのか、情報源とそ れぞれのメディアの 形態を知る。	メディアの影響力と、 情報源と多様さを分析 する。	メディアの影響力と、 情報源とその多様さ重 要性を知る。	メディアの影響力と、 情報源と多様さを知 り デジタルアーカイ ブ化計画に活用する。
著作者と著作人格権	・著作物とはなにか ・著作人格権とはなにか	・法令に基づき著作物 を理解する。 ・著作人格権を、公表 権、氏名表示権、同一 性保持権から理解する。	・著作物とは何か、 著作物にするには届け 出が必要かを考える ・著作人格権とは何 かを考える	事例によって権利保護 の重要性を分析する。	権利保護の重要性を知 る。	著作物と著作人格権 を知り、デジタル アーカイブ化に計画 に活用する。